

「勝姫桜」を県基幹種雄牛に選抜

—次世代を担うエース誕生！新しい基幹種雄牛に期待—

県歴代1位のロース芯面積83.8^{cm²}と、「茂福久」に次ぐ高い脂肪交雑10.7を記録した「勝姫桜」が県基幹種雄牛に選抜されましたのでお知らせします。

1 プロフィール

「勝姫桜」

生年月日 令和3年3月10日
父 茂福久
母 かつひめ
母の父 勝忠平
母の母の父 金幸
生産地 登米市豊里町
飼養場所 宮城県畜産試験場



2 概要

- 「勝姫桜」は、ステーキなどに使われる高級部位のロース芯面積が県歴代1位であり、かつ霜降り度合の基準である脂肪交雑の数値も10.7と、県のエース種雄牛である「茂福久」に次ぐ好成績となりました。また、枝肉重量（肉の量）も全国平均より優れています。
- 「勝姫桜」を活用することで、宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「仙台牛」のブランド強化の弾みとなります。
- 「勝姫桜」の家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

3 現場後代検定成績

| | 検定頭数 | 出荷月齢 | 枝肉重量 (1) | ロース芯面積 (2) | ばらの厚さ (3) | 脂肪交雑 (4) |
|---------|------|------|-------------|---------------|--------------|-------------|
| 勝姫桜 | 20 | 28.9 | 516.9 | 83.8 | 8.9 | 10.7 |
| 全国平均(5) | — | — | 513.4 | 70.3 | 8.5 | 9.1 |

(1)から(4)すべて数値が大きい方が良い。(4)サンヤ霜降りの指標であり1~12段階で評価される。(5)令和6年度の(独)家畜改良センター枝肉成績(去勢)とりまとめ。

4 取材にあたっての注意事項

家畜防疫上、畜産試験場内への立ち入りはできません。取材は畜産課で対応いたします。